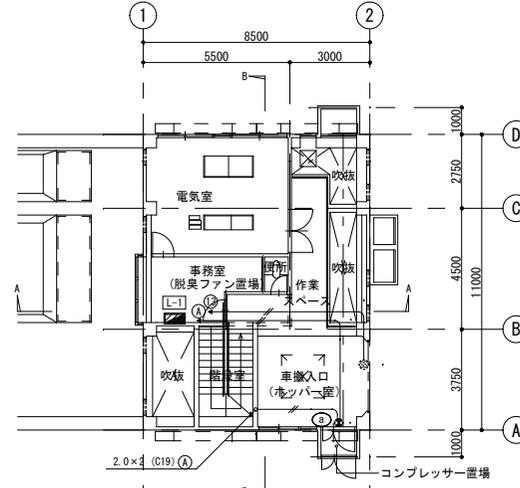
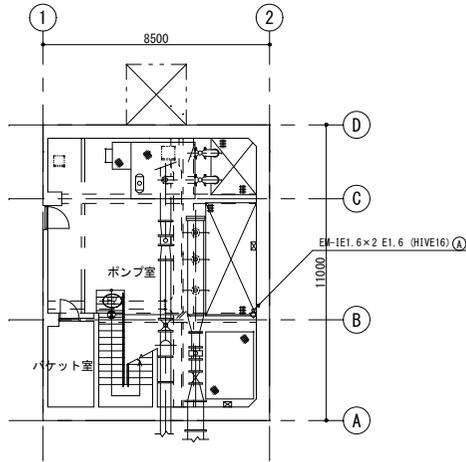
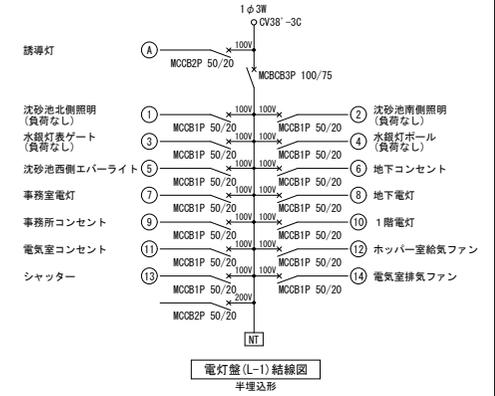


B 1階平面図 S=1/100

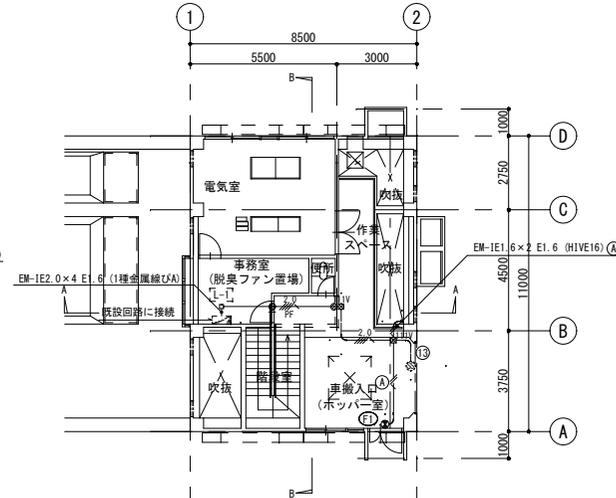


1階平面図 S=1/100

撤去凡例	
記号	名称
☐	電灯盤
●	誘導灯
⚡	電動シャッター(建築工事で撤去)
---	配管配線(隠蔽一打込)
---	配管配線(露出)
□	ジョイントボックス
誘導灯、誘導灯電源、シャッター電源を撤去する(ただし斜線部分は除く)	
コンクリート打込配管は配線のみ撤去する	
配管配線凡例	
---	2.0×2 (C19)
---	2.0×2 (C19)
照明器具	
Ⓐ	蛍光灯 FL10W×1 避難口誘導灯 壁付 電池内蔵
Ⓑ	蛍光灯 FL10W×1 避難口誘導灯 バイブ吊 電池内蔵

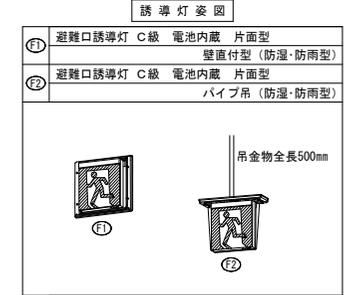


B 1階平面図 S=1/100



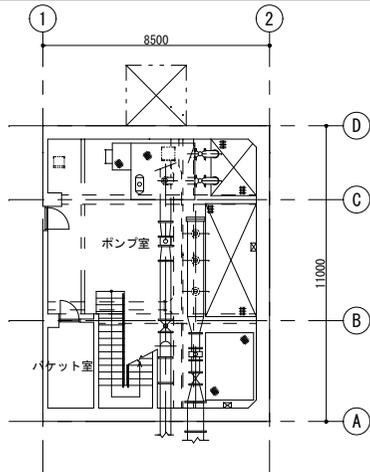
1階平面図 S=1/100

改修凡例	
記号	名称
☐	電灯盤(既設)
●	誘導灯
⚡	電動シャッター(建築工事で新設)
---	配管配線(隠蔽一天井内)
---	配管配線(露出)
□	プルボックス
□	ジョイントボックス
○	丸形露出ボックス
●	はつり補修
誘導灯、誘導灯電源、シャッター電源を更新する	
配管配線凡例	
---	EM-IE2.0×4 E1.6 (PF22-天井内)
---	EM-IE2.0×2 E1.6 (HIVE16)
---	EM-IE2.0×4 E1.6 (HIVE22)
---	EM-IE1.6×2 E1.6 (HIVE16)
プルボックス凡例	
□	111V : 150×150×100 樹脂製

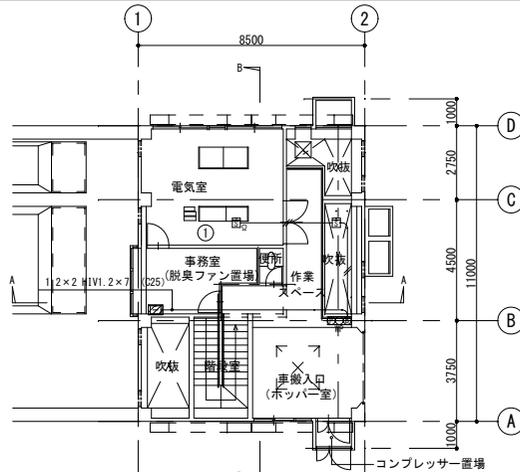


事業名	令和2年度公共下水道事業
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事
工事場所	四日市市日永東地内
名称	電灯設備 平面図
縮尺	1/100 設計年月日 令和 年月
工種	設計者
事業主体	四日市市 図面番号 AE-04

改修前



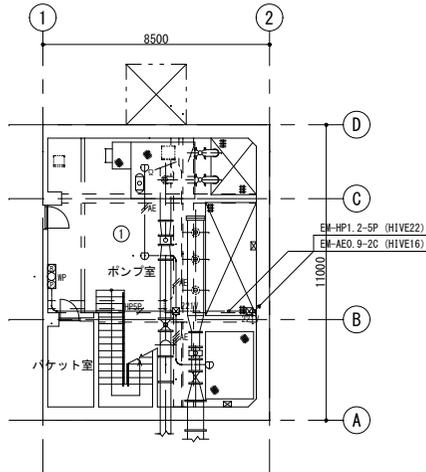
B1階平面図 S=1/100



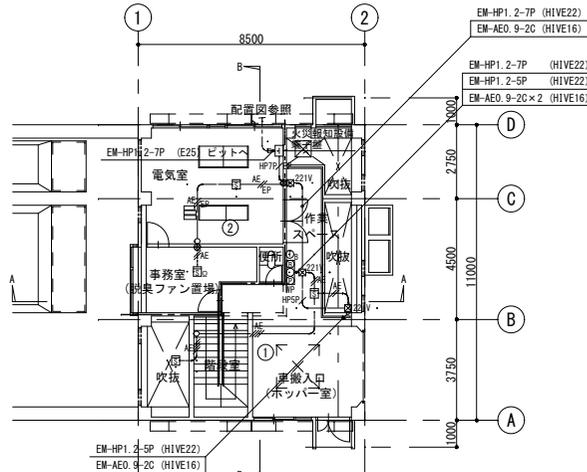
1階平面図 S=1/100

撤去凡例	
記号	名称
☒	総合盤 P型2級(露出型) 防湿タイプ
☒	煙感知器 2種
○	終端抵抗
(M)	警戒区域番号
☐	端子盤 半埋込形 電話10P+火災報知10P
配管配線(隠蔽一打込)	
火災報知設備を全て撤去する(ただし☒部分は除く)	
コンクリート打込配管は配線のみ撤去する	
機器・配線器具の撤去後の裏ボックスには、カバープレートを取付すること	
配管配線凡例	
1.2×2 (C19)	

改修後

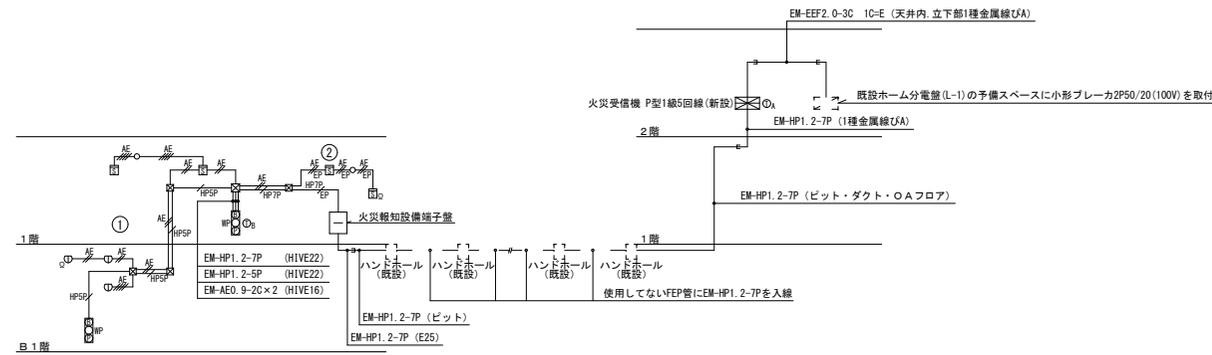


B1階平面図 S=1/100



1階平面図 S=1/100

改修凡例	
記号	名称
☒	火災受信機 P型1級5回線 (管理棟)
☒	総合盤 P型1級(露出型) 防湿タイプ
☒	煙感知器 2種
☒	定温式スポット型感知器 1種 防水
○	終端抵抗
(M)	警戒区域番号
○ _A	送受話器(受信機の付属品)
○ _B	送受話器(総合盤用)
警戒区域境界線	
☐	端子盤 壁掛形銅板製 10P
配管配線(露出)	
ケーブル配線(天井内)	
ケーブル配線(ビット内)	
☒	フルボックス
○	丸形露出ボックス
●	はつり補修
配管配線凡例	
AE	EM-AE0 9-2C (HIVE16)
AE	EM-AE0 9-4C (HIVE16)
AE/EP	EM-AE0 9-2C (E19)
HPSP	EM-HP1 2-5P (HIVE22)
HP7P	EM-HP1 2-7P (HIVE22)
HP7P/EP	EM-HP1 2-7P (E25)
AE	EM-AE0 9-2C (天井内ケーブル配線・壁貫通部E19)
フルボックス凡例	
☒221V	: 200×200×100 樹脂製
総合盤(1階)に送受話器を設置すること	



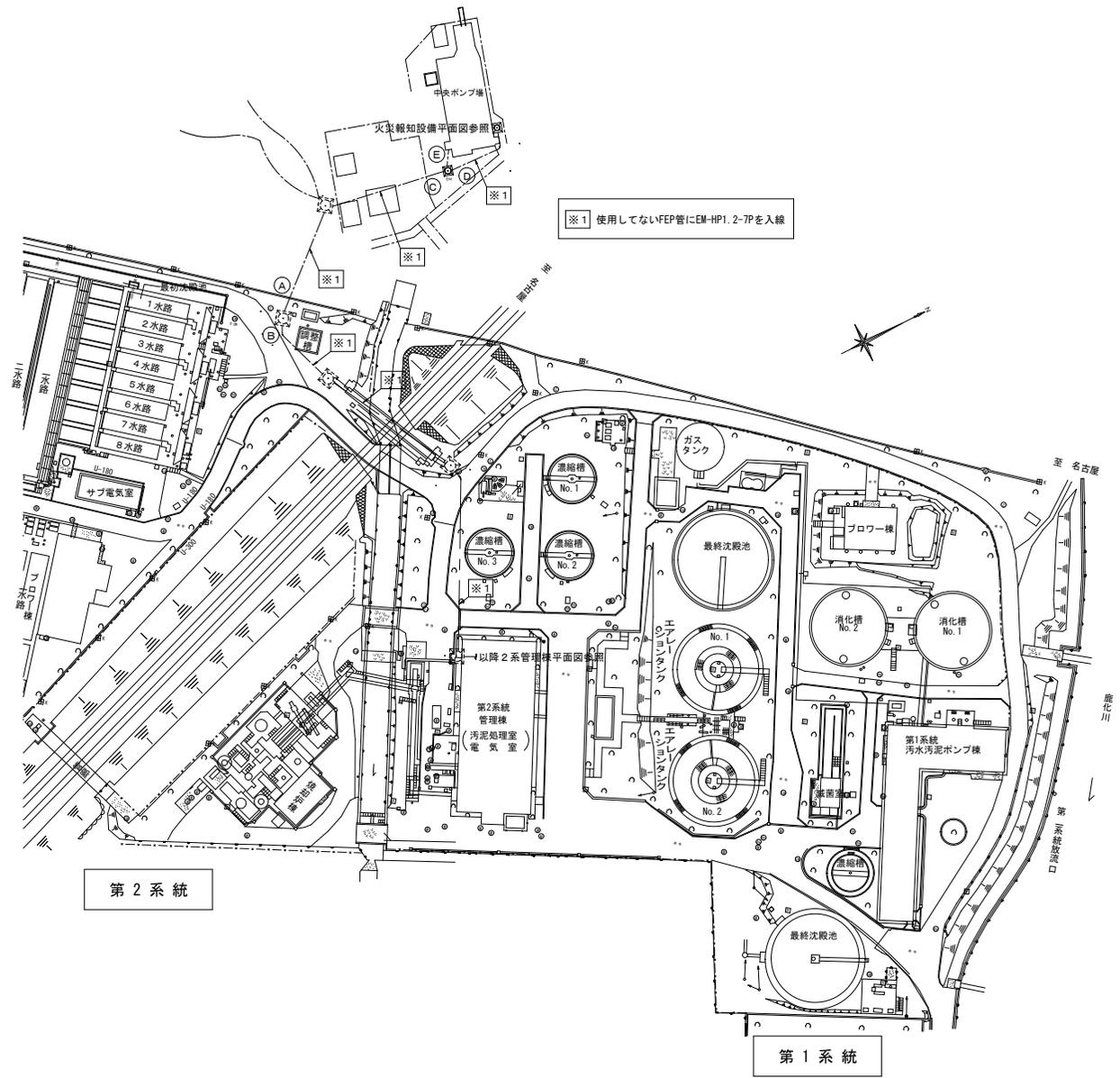
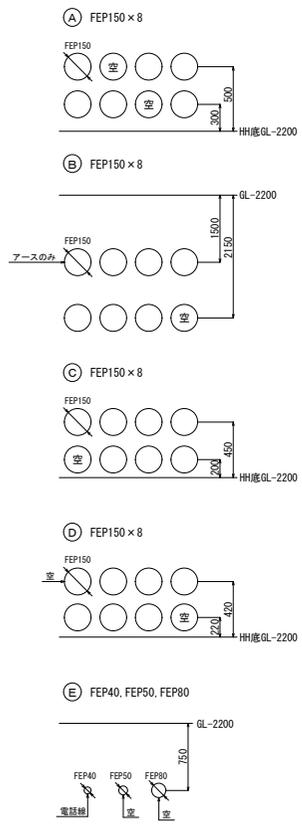
中央ポンプ場

第2系統管理棟

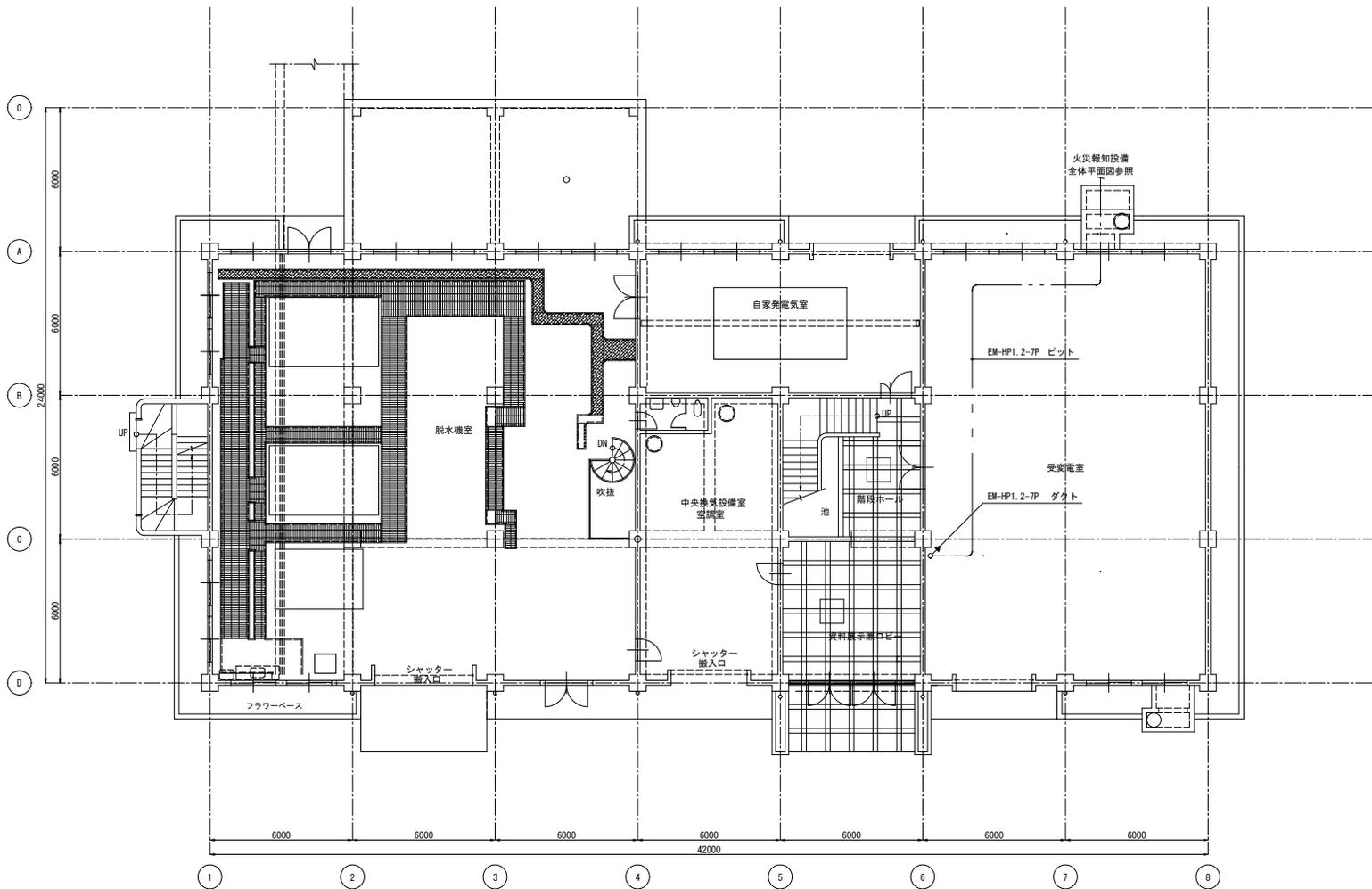
火災報知設備系統図

※工事着手前に消防設備等の届出を提出し、工事完了後に消防の検査を受検し、検査済証が発行が必要である。

事業名	令和2年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事		
工事場所	四日市市日永東地内		
名称	火災報知設備 平面図		
縮尺	1/100	設計年月日	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市	図面番号	AE-05

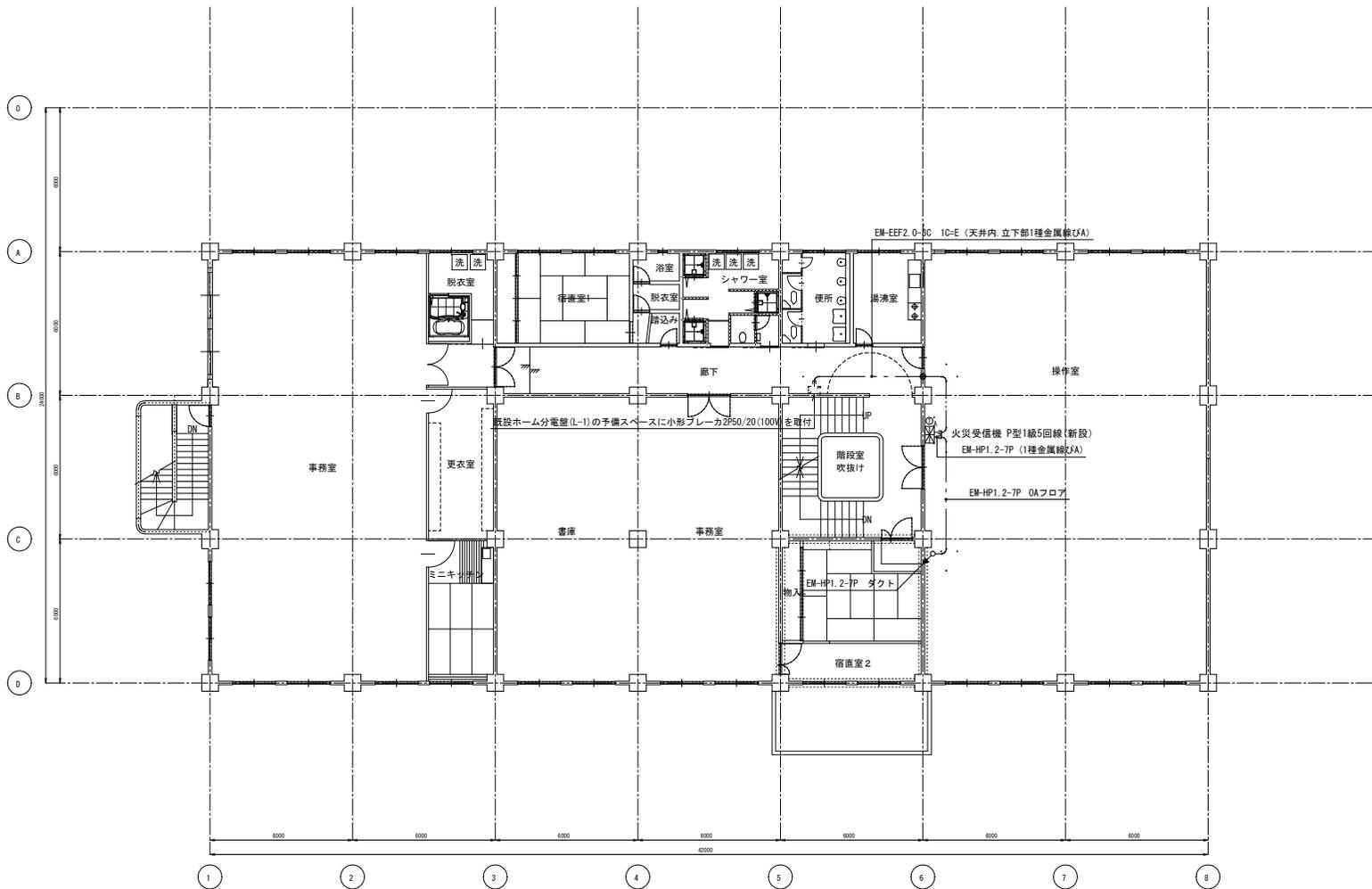


事業名	令和2年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事		
工事場所	四日市市日永東地内		
名称	火災報知設備 全体平面図		
縮尺	1/600	設計年月日	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市	図面番号	AE-06



1階平面図 S=1/100
 <2系管理棟>

事業名	令和2年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事		
工事場所	四日市市日永東地内		
名称	火災報知設備 2系統管理棟1階平面図		
縮尺	1/100	設計年月日	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市	図面番号	AE-07



2階平面図 S=1/100
 <2系管理棟>

事業名	令和2年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事		
工事場所	四日市市日永東地内		
名称	火災報知設備 2系統管理棟2階平面図		
縮尺	1/100	設計年月日	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市	図面番号	AE-08

③ 防水改修工事	3 改質アスファルトシート防水	[表3.1.1][3.4.2~3][表3.4.1~3]		
	防水改修工の種類	施工箇所	新規防水層の種別(厚さmm)	仕上げ塗料等
	仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ()箇所 屋根露出防水断熱法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品 ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号			
	施工標準 ※設ける ・設けない			
	4 合成高分子系ルーフィングシート防水	[表3.1.1][3.5.2~3][表3.5.1~2]		
防水改修工の種類	施工箇所	新規防水層の種別(厚さmm)	仕上げ塗料等	
仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート [3.5.2] 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ()箇所 機械固定工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・押出法ポリスチレンフォーム断熱材1種b、2種b又は3種b 接着工法に用いる断熱材 ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・ポリエチレンフォーム断熱材 改修用ドレン ※設ける ()箇所 ・設けない ※製造所の指定する製品 ・鋼製 ・鉛製 施工標準 ※設ける ・設けない				
5 塗膜防水	[表3.1.1][3.6.2~3][表3.6.1]			
防水改修工の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	
仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗料の除去(L4X工法) ・除去する [3.2.6] 脱気装置 ・設けない ・設ける 施工標準 ※設ける ・設けない				
⑥保証期間	防水の保証期間は原則、10年とする。ただし、既存の劣化等の状況により保証ができない場合は、保証できない理由を明確にし、監督職員と協議を行うこと。			
⑦シーリング	①シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 [3.1.4][表3.1.2] ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2][表3.7.1] ※下表以外は、改修標準表 3.7.1を標準とする			
8 と い	材質 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) [3.8.2(1)] ①受け金物 ※SUS製 ・亜鉛メッキ製 ルーフドレン ※JWC301(日本鉄鉄ふた・排水器具工業規格) ・図示による [3.8.2(1)]			
9 アルミニウム製盗木	表面処理 ・AB-1種 ※BB-1種 [3.9.2]			
4章 外壁改修工事	1 施工数量調査	調査範囲 ・既存モルタル面 ・躯体コンクリート面 ・図示の範囲 [1.5.2] 調査内容 ひび割れ(0.2mm以上)の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはげ落部を調査する。 調査報告書の部数 ※1部		
	2 改修工の種類	[4.1.4~5]		
外壁の種類	種類	改修工法		
・コンクリート	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・ウレタン樹脂充填工法 ・シール工法		
・打直し仕上げ	・欠損部	・充填工法		
・モルタル塗り仕上げ	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・ウレタン樹脂充填工法 ・シール工法		
	・欠損部	・充填工法 ・モルタル塗替え工法		
	・浮き部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		
・タイル張り仕上げ	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・ウレタン樹脂充填工法		
	・欠損部	・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法		
	・浮き部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		
	・目地	・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法		
・塗り仕上げ	・薄付け仕上塗材塗り	・可とう形改修用仕上塗材塗り		
	・厚付け仕上塗材塗り	・各種塗料塗り		
	・複層仕上塗材塗り	・マステック塗材塗り		

3 ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法 (・モルタル面 ・躯体コンクリート面) [4.1.4][4.3.4]				
	注入工の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(cc/cm)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法					
・0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※					
樹脂注入工法					
・0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40					
・0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70					
・0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130					
注入工法					
注入材料 [4.2.2]					
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)					
検査(コア抜き) ・行わない					
※行う(採取部)の補修方法:					
・ウレタン樹脂充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]					
充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材					
・可とう性エポキシ樹脂					
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない					
・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]					
シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂					
4 欠損部改修工法	※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]				
充填材料 ・ポリマーセメントモルタル (・モルタル面 ・コンクリート面 ・CB面)					
・エポキシ樹脂モルタル ()					
5 浮き部改修工法	[4.1.4][4.4.10~15][表4.4.3~4]				
改修工の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)	注入口の箇所数(箇所/m ²)	注入量		
(モルタルを撤去しない場合)					
一般部	指定部	一般部	指定部		
・アンカーピンニング部分	※16	※25	一般部	指定部	※25ml
エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・
・アンカーピンニング全面	※13	※20	※12	※20	※25ml
エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・
・アンカーピンニング全面	※13	※20	※12	※20	・25ml
ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	※50ml
・注入口付アンカーピンニング部分	※9	※16	・	・	※25ml
エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・
・注入口付アンカーピンニング全面	※9	※16	※9	※16	※25ml
エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・
・注入口付アンカーピンニング全面	※9	※16	※9	※16	※50ml
ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・
※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/㎡とする					
アンカーピン [4.2.2]					
材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの					
注入口付アンカーピン [4.2.2]					
材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm					
6 既存塗膜等の除去及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.2~5]				
工法	処理範囲	下地面の補修			
・サンダー工法	※既存仕上全体	・ひび割れ部改修工法			
・高圧水洗工法	※既存仕上全体	・浮き部改修工法			
・塗膜はく離工法	※既存仕上全体	・欠損部改修工法			
・水洗工法	※上記処理範囲以外の既存仕上全体				
7 仕上塗材仕上げ	下地調整材 [4.2.2][4.6.3]				
※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水仕上げ塗材主材を使用					
種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4~5]					
種類	呼び名	仕上の形状			
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状			
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状			
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状			
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状			
	・可とう形複層塗材CE	上塗材 ・水系アクリル			
	・複層塗材E	・水系アクリルシリコン			
	・複層塗材RE	外観 ※つやあり ・つやなし			
	・防水形複層塗材CE	・メタリック			
	・防水形複層塗材E	防水形の増塗材 ・行う			
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	菊水化学工業(株) エスケー(化研)株 下塗り材「水性719-2」 ※上塗り材「水性719-2」 下塗り材「水性719-2」 ※上塗り材「水性719-2」 スチールファイン(株) ※上塗り材「水性719-2」 ※上塗り材「水性719-2」 上記同等品とする			
※改修方法はローラー塗りとする ※改修方法及び塗料はメーカー仕様による 尚、塗料の塗布量は標準仕様を適用する					

8 設計数量	<table border="1"> <tr> <th>外壁部位</th> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・コンクリート打直し</td> <td>・ひび割れ</td> <td>※ウレタン樹脂充填工法</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・欠損部</td> <td>※エポキシ樹脂モルタル充填工法</td> <td>箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗り仕上げ</td> <td>・ひび割れ</td> <td>※ウレタン樹脂充填工法</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・欠損部</td> <td>※充填工法</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・浮き部</td> <td>※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>m²</td> <td></td> </tr> </table>				外壁部位	種類	工法	数量	備考	・コンクリート打直し	・ひび割れ	※ウレタン樹脂充填工法	m			・欠損部	※エポキシ樹脂モルタル充填工法	箇所		・モルタル塗り仕上げ	・ひび割れ	※ウレタン樹脂充填工法	m				・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	m			・欠損部	※充填工法	m			・浮き部	※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	m ²	
外壁部位	種類	工法	数量	備考																																			
・コンクリート打直し	・ひび割れ	※ウレタン樹脂充填工法	m																																				
	・欠損部	※エポキシ樹脂モルタル充填工法	箇所																																				
・モルタル塗り仕上げ	・ひび割れ	※ウレタン樹脂充填工法	m																																				
		・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	m																																				
	・欠損部	※充填工法	m																																				
	・浮き部	※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	m ²																																				
※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。 尚、数量の10%を超える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。																																							
①改修工法	・かかせ工法 ○撤去工法 (・引き抜き工法 ○はつり工法) [5.1.3]																																						
2 見本の製作等	・建具見本の製作 ・特殊な建具の仮組 [5.1.5]																																						
3 アルミニウム製建具	外部に面する建具(フロントサッシは除く) [5.2.2][表5.2.1]																																						
種別	耐風圧性	気密性	水密性	検見込み(mm)	施工箇所																																		
・A種	S-4	A-3	W-4	※70	※図示																																		
・B種	S-5			・100																																			
・C種	S-6	A-4	W-5	・70	・100																																		
表面処理 ※BB-1種 ・BB-2種(※アロハ系 ・アラク ・アハナ)																																							
内部建具 [5.2.4][表5.2.2]																																							
表面処理 ※AC-1又はBB-1種 ・AC-2又はBB-2種(※アロハ系 ・アラク ・アハナ)																																							
4 網戸	防虫網 [5.2.3]																																						
網の種類 ※ステンレス(SUS316)製 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製																																							
形式 ※可動式 ・固定式																																							
5 樹脂製建具	外部に面する建具(フロントサッシは製造所の仕様による) [5.3.2][表5.3.1]																																						
種別	耐風圧性	気密性	水密性	検見込み(mm)	施工箇所																																		
・A種	S-4		W-4	・70	※図示																																		
・B種	S-5	A-4	W-5	・100																																			
・C種	S-6																																						
・防音ドアセット及び防音サッシの適用 種別 ・T-A種 ・T-B種 [5.3.2][表5.3.2]																																							
・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用 種別 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 [5.3.2][表5.3.3]																																							
⑥鋼製建具	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない ○図示による [5.4.2]																																						
7 鋼製軽建具	品質規格 ※改修標準表5.5.1による [5.5.2][5.5.4] ・製造所標準仕様による 簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない																																						
8 ステンレス製建具	表面仕上げ ※H.L仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.2][5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ 簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない																																						
⑨建具用金物	マスターキー ・製作する ○製作しない(既存に合わせる) [5.7.4] モノロック ゴール() 美和ロック() シリンダー箱錠 ゴール() 美和ロック() シリンダー本錠錠 ゴール() 美和ロック() ドアクロザー ダイハツディーゼル機器(大島機工、ニッカナ) 日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ フロアヒンジ 大島機工(ニッカナ、美和ロック)、日本ドアチェック製造、リョービ、デンセイオートテック ヒンジローザ 大島機工(ニッカナ、美和ロック)、日本ドアチェック製造、リョービ、デンセイオートテック 押板、取手 樹脂工業、ユニオン																																						
10 自動ドア開閉装置	開閉方法 ※引き戸 ・多機能トイレ用引き戸 [5.8.2~3][表5.8.1~6] センサーの種類 ・光線センサー ・熱線センサー																																						
11 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標準表5.9.3による [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による																																						

工事設計図

図面名	特記仕様書(改修2)	設計番号	課長	副事業課長補佐	係長	担当者	図面番号
	令和2年版	作図年月日					
一級建築士 登録 第 号 四日市市諏訪町1番5号							

5章 建具改修工事

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 12, 13, 14) and Description (e.g., 重量シャッター, 軽量シャッター, その他のシャッター). Includes details on materials, mechanisms, and safety standards.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 8, 9, 10) and Description (e.g., 軽量鉄骨天井下地, 軽量鉄骨壁下地, ビニル床シート). Includes details on construction methods and material specifications.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 18, 19) and Description (e.g., 畳敷き, セッコウボード). Includes a table for board specifications (種類, JISの記号, 厚さ) and a table for floor treatment types (目地処理の種類等).

6章 室内装改修工事

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 1, 2, 3) and Description (e.g., 改修範囲, 既存床の撤去並びに下地補修, 既存壁の撤去並びに下地補修). Includes details on demolition and repair procedures.

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 13, 14, 15) and Description (e.g., 誘導用及び注意喚起用床材, ビニル幅木, カーペット敷き). Includes tables for tile specifications (種類, 寸法) and carpet types (種類, バイル形状).

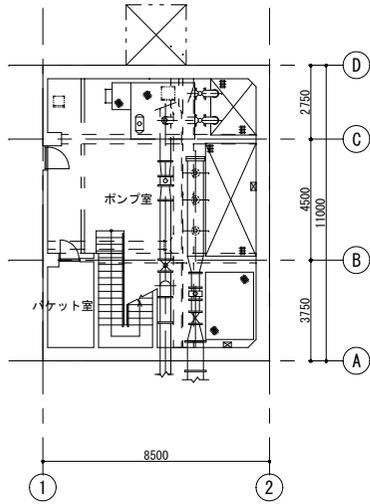
Table with 2 columns: Item No. (e.g., 20, 21, 22) and Description (e.g., セッコウボードの目地処理, 壁紙張り, セミツクリ4種張り). Includes tables for wall paper types (種類, 壁紙の種類) and tile types (タイルの種類).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 5, 6) and Description (e.g., 集材等, 接着剤). Includes a table for material specifications (品名, 規格) and details on adhesive application.

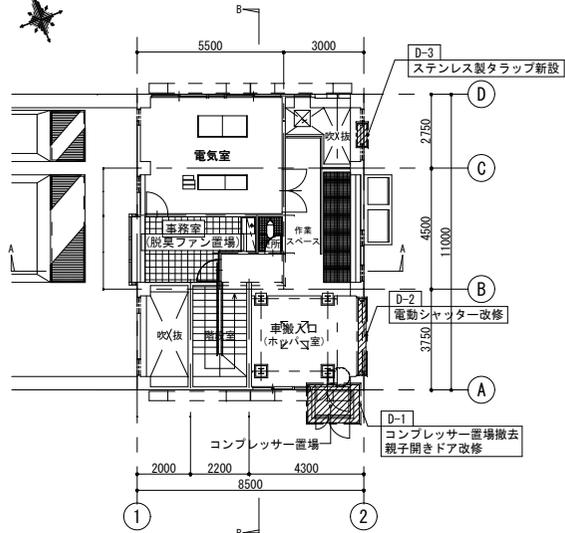
Table with 2 columns: Item No. (e.g., 16, 17) and Description (e.g., 合成樹脂塗床, フローリング張り). Includes tables for floor coating specifications (種類, 寸法) and flooring types (種類, 樹種).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 23, 24) and Description (e.g., セルフレベリング, 断熱材). Includes tables for leveling agent specifications (種類, 施工箇所) and insulation types (種類, 施工箇所).

Table for '工事設計図' (Construction Design Drawing). Includes fields for drawing name (特記仕様書), design number, dates, and roles (課長, 担当).

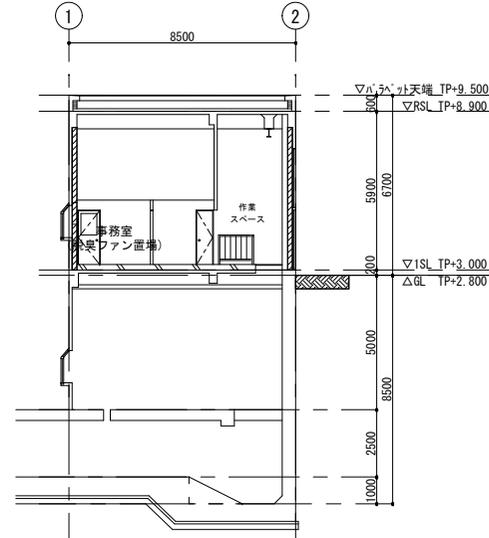


B 1階平面図 S=1/100

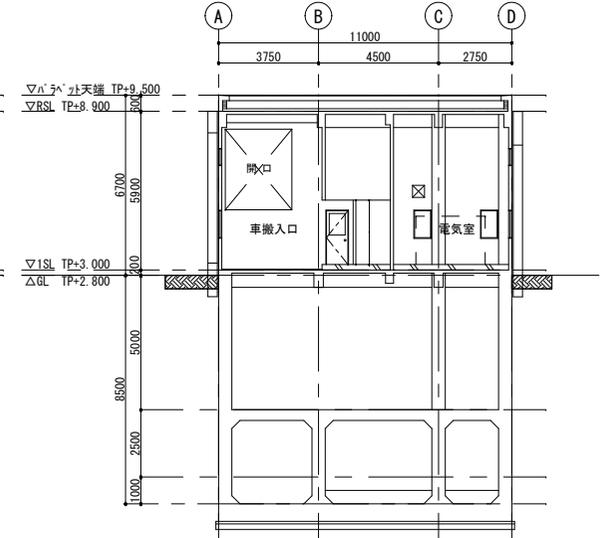


1階平面図 S=1/100

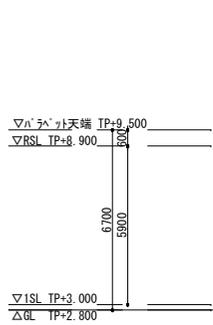
今回改修範囲を示す



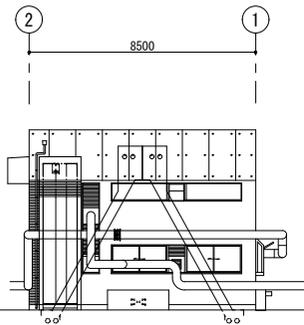
A-A断面図 S=1/100



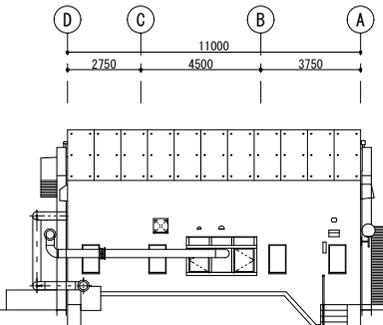
B-B断面図 S=1/100



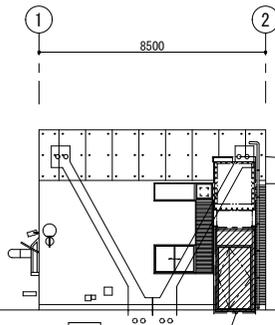
北立面図 S=1/100



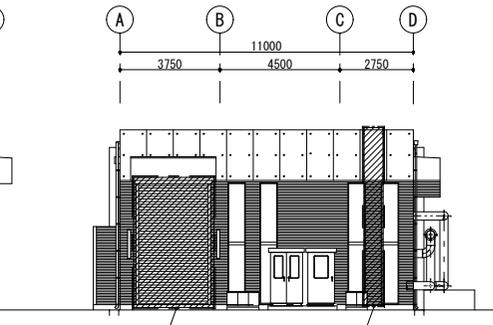
西立面図 S=1/100



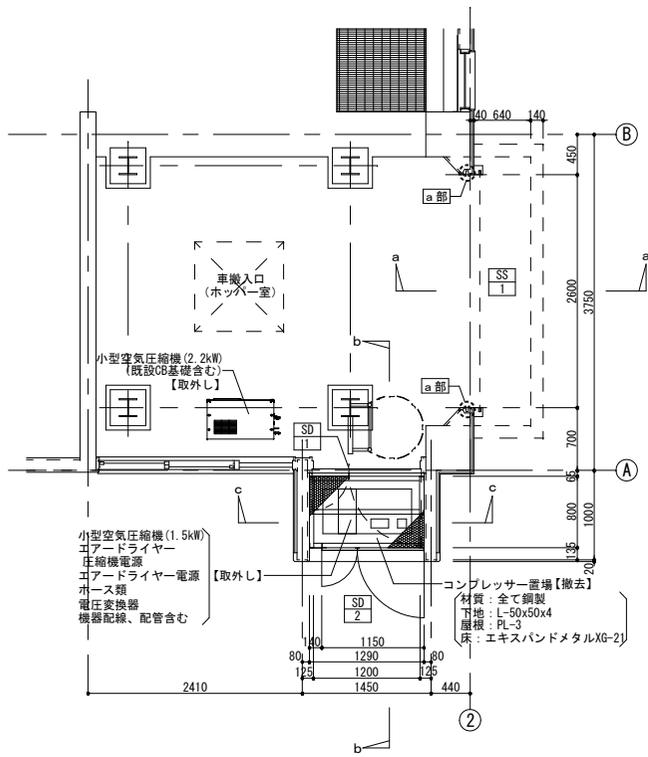
南立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100



事業名	令和2年度公共下水道事業
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事
工事場所	四日市市日永東地内
名称	平面図、立面図、断面図
縮尺	1/100 設計年月日 令和 年 月
工種	設計者
事業主体	四日市市 図面番号 A-8

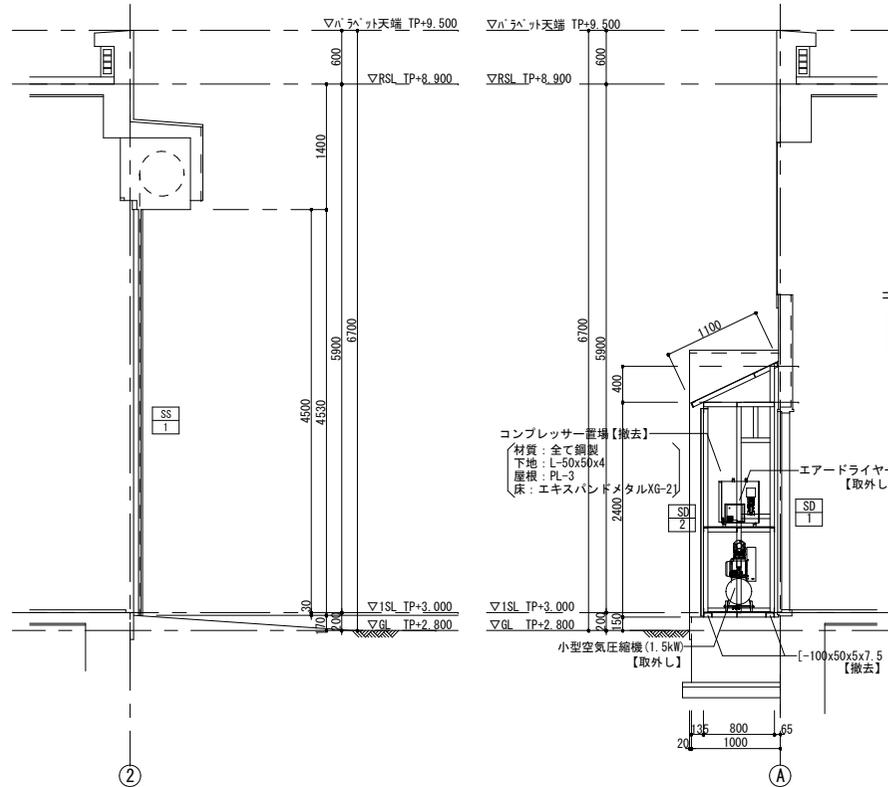


平面詳細図 S=1/30

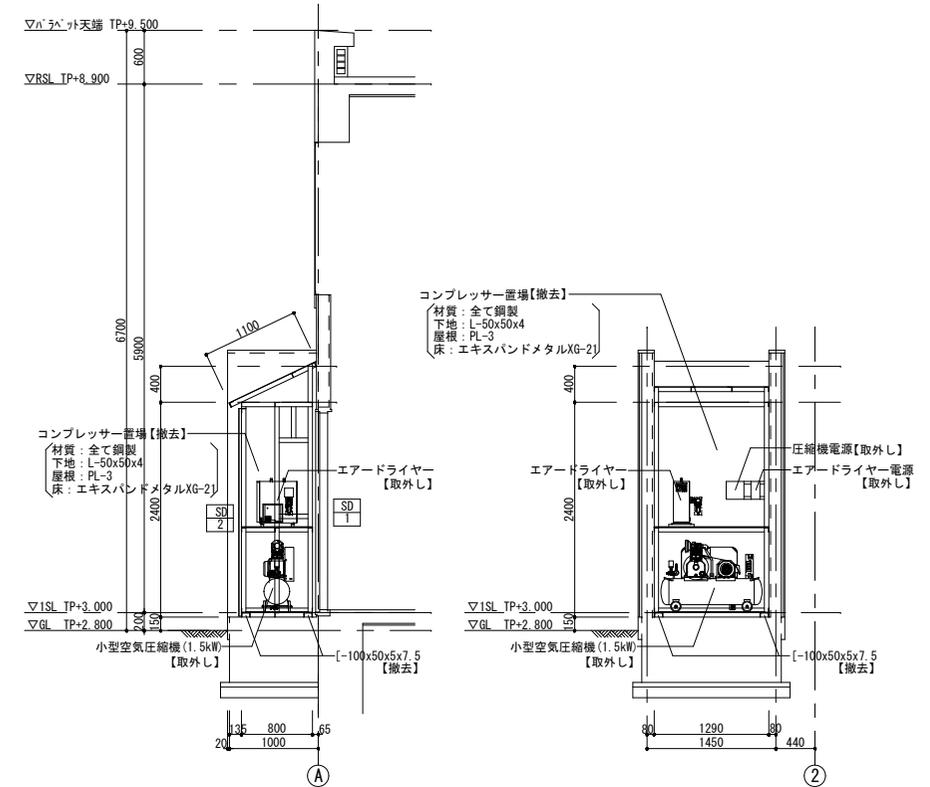
【凡例】
 ○○ 撤去建具を示す



a 部詳細図 S=1/10



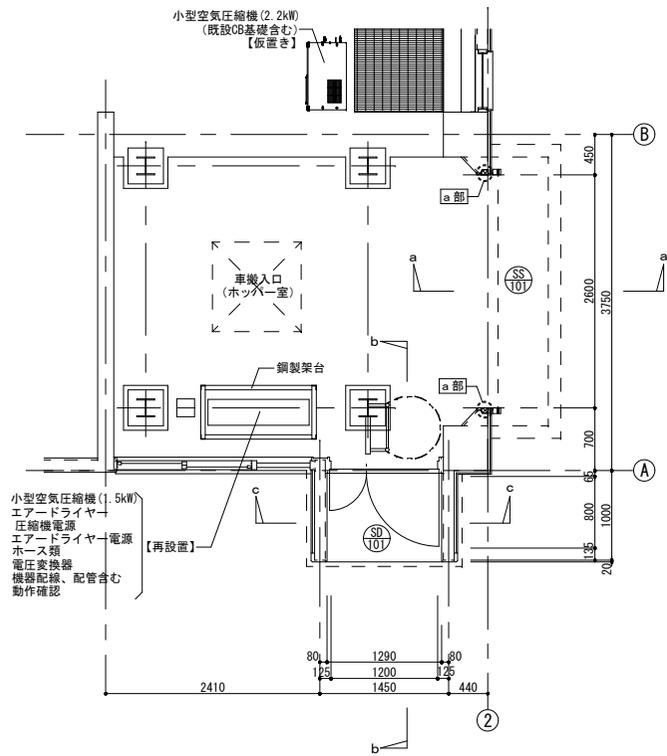
a-a 断面詳細図 S=1/30



b-b 断面詳細図 S=1/30

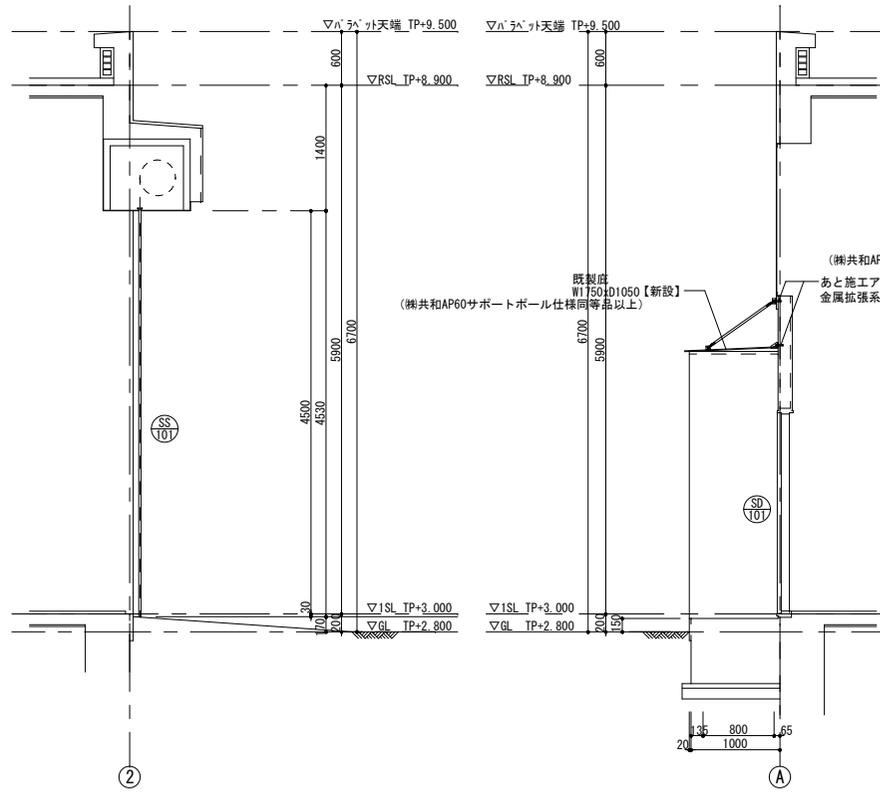
c-c 断面詳細図 S=1/30

事業名	令和2年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事		
工事場所	四日市市日永東地内		
名称	D-1・D-2詳細図 (改修前)		
縮尺	1/30	設計年月日	令和 年 月
工種	1/10	設計者	
事業主体	四日市市	図面番号	A-9

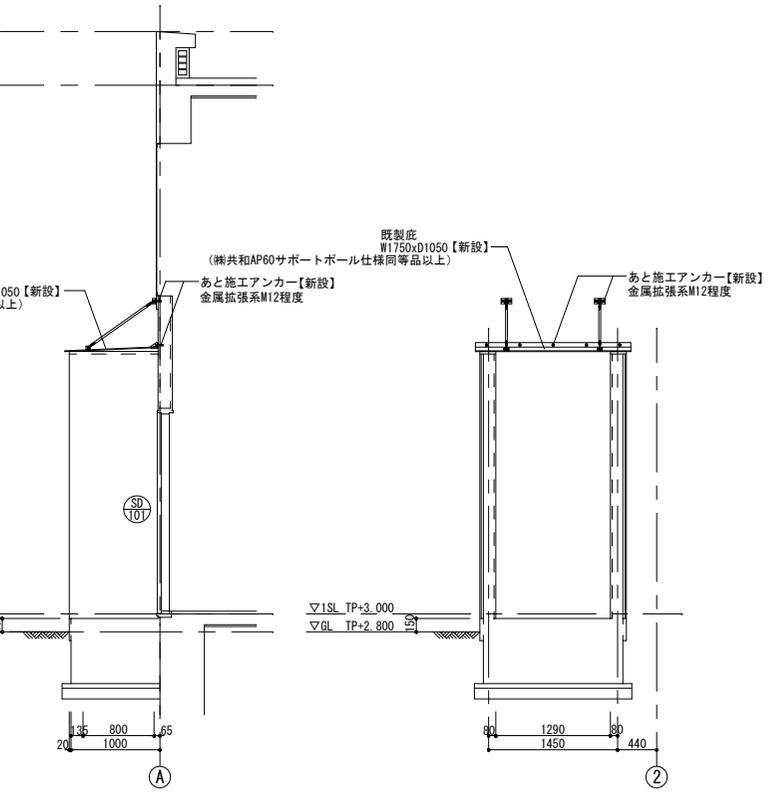


平面詳細図 S=1/30

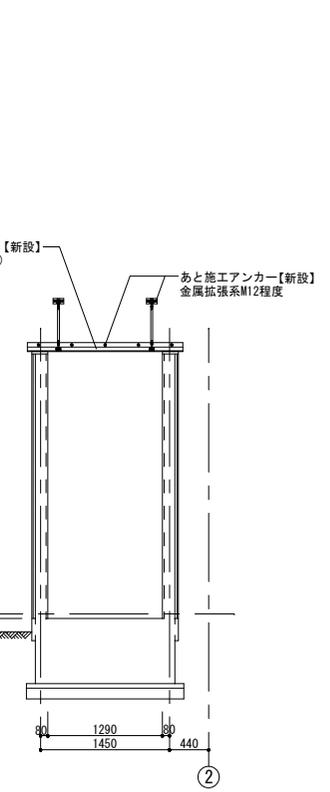
【凡例】
 新設建具を示す



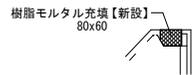
a-a 断面詳細図 S=1/30



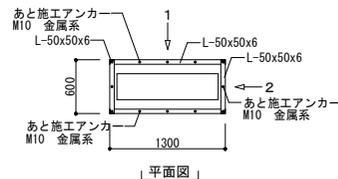
b-b 断面詳細図 S=1/30



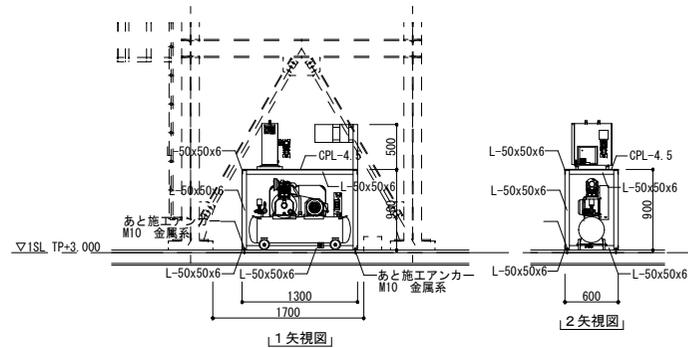
c-c 断面詳細図 S=1/30



a 部詳細図 S=1/10



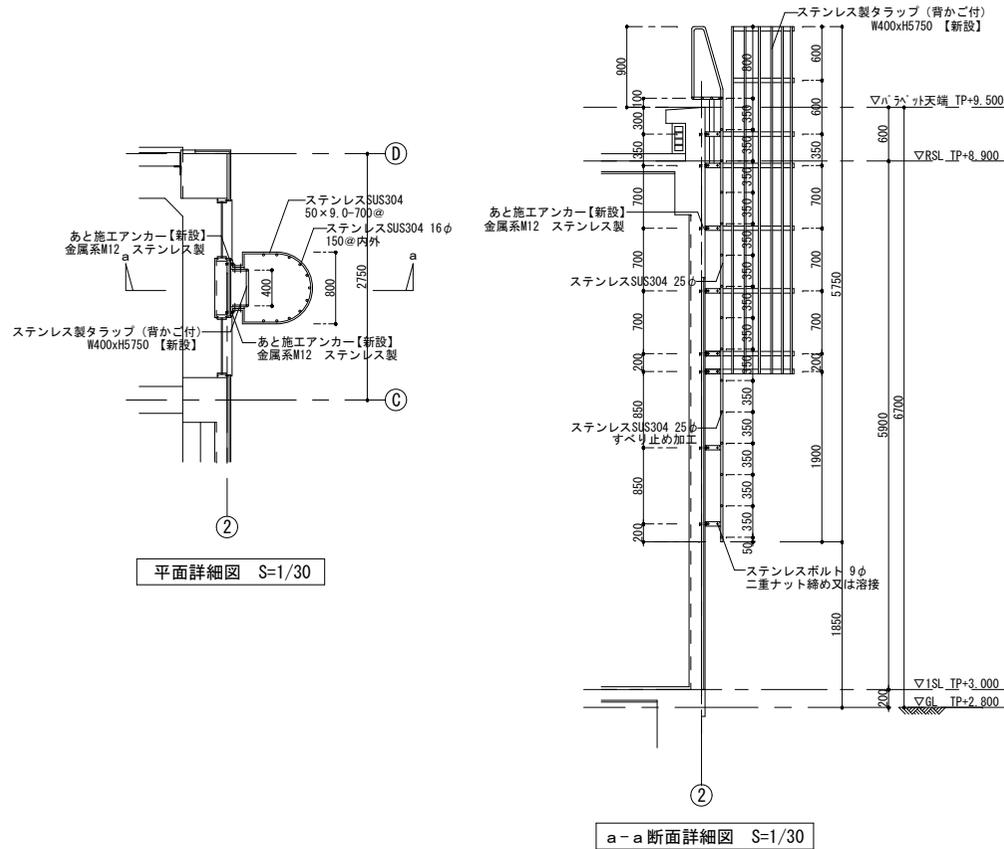
鋼製架台詳細図 S=1/30



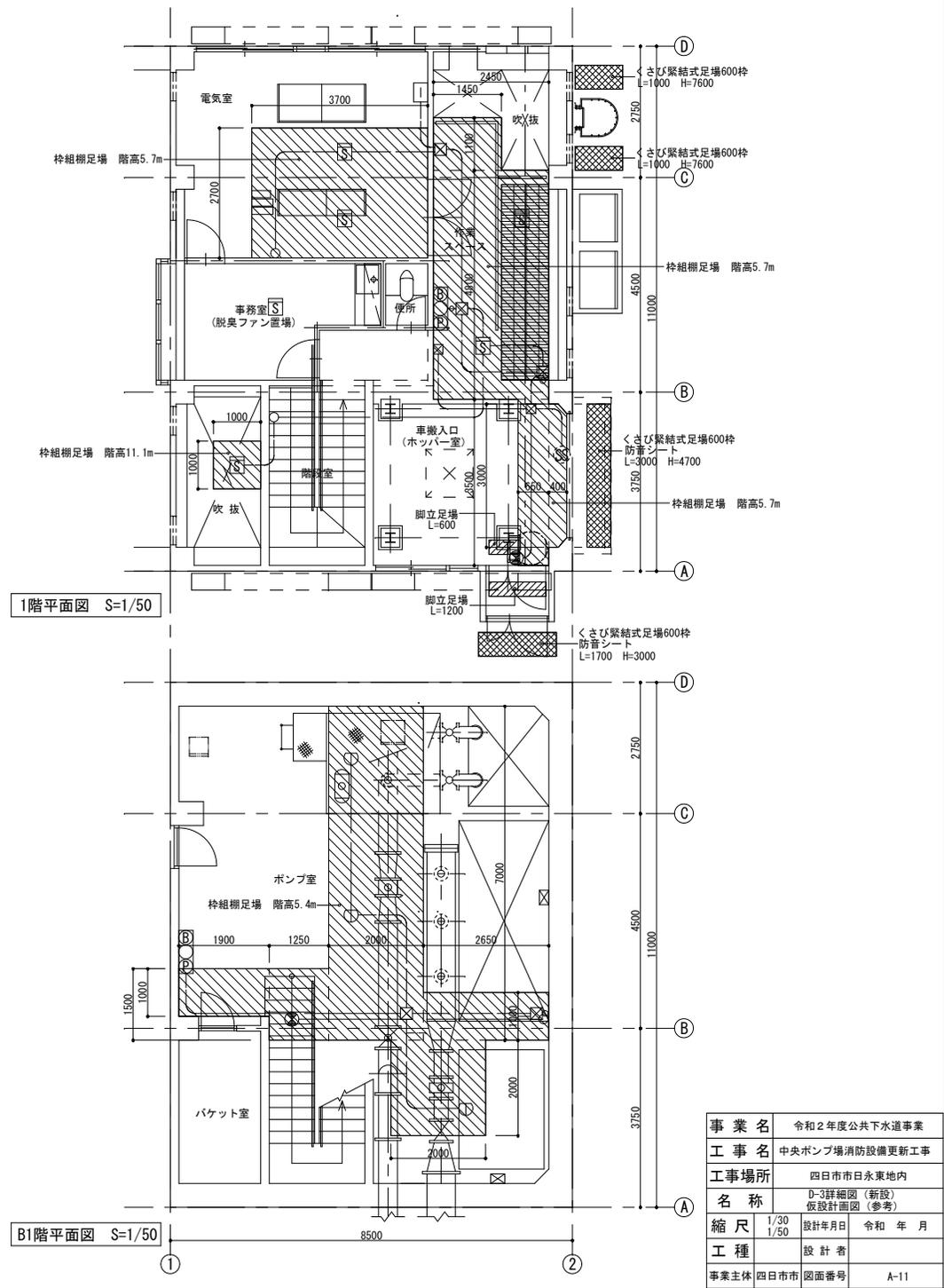
事業名	令和2年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事		
工事場所	四日市市日永東地内		
名称	D-1・D-2詳細図(改修後)		
縮尺	1/30 1/10	設計年月日	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市	図面番号	A-10

D-3 ステンレス製タラップ（背かご付）【新設】

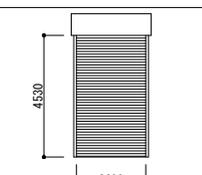
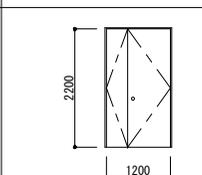
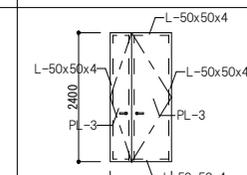
※各鋼材の材質は全てステンレス製とする。
 ※各鋼材の形状及びピッチは参考扱いとし、制作図を作成し監督員の承諾を得ること。

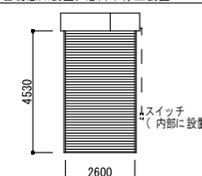
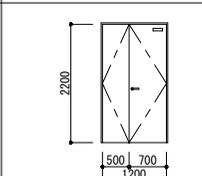


仮設計画図（参考）



事業名	令和2年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事		
工事場所	四日市市日永東地内		
名称	D-3詳細図（新設） 仮設計画図（参考）		
縮尺	1/30 1/50	設計年月日	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市	図面番号	A-11

撤去建具表 S=1/50			
符号・名称・個数	SS 1 電動鋼製シャッター 1	SD 1 親子開き鋼製ドア 1	SD 2 親子開き鋼製ドア(アングルドア) 1
場所	1F車搬入室(ホッパー室)	1F車搬入室(ホッパー室)	1F車搬入室(ホッパー室)
仕上(枠共)	メラミン焼付	CP	CP
建具	見込(ランマ) 親子(ランマ)	40	30
建具枠	見込取合 音摺	180	
枠記号	音摺(水切)記号		
建具金物			
その他	スラット: スチール1.6mm シャッターボックス: スチール ガイドレール(露出型)、座板: ステンレス	ビボッドヒンジ、握玉錠、フランス落し	レバーハンドル
形状・寸法			
	【全て撤去】	【枠共撤去】	

新設建具表 S=1/50			
符号・名称・個数	SS T01 電動鋼製シャッター 1	SD T01 親子開き鋼製ドア(簡易気密) 1	
場所	1F車搬入室(ホッパー室)	1F車搬入室(ホッパー室)	
仕上(枠共)	粉体焼付(標準色)	DP(1級)	
建具	見込(ランマ) 親子(ランマ)	40	
建具枠	見込取合 音摺	180	
枠記号	音摺(水切)記号	4-42-2準用	
建具金物			
その他	ガイドレール(露出型)、座板、マグサ: ステンレス シャッターケース(露出型)、スラット: 鋼板 開閉機: 単相100V 0.25kW 障害物感知装置、急降下停止装置	レバーハンドル錠、丁番、DQ、フランス落し、戸当り	
形状・寸法			

0-00-0は、建築工事標準詳細図(平成28年版)の番号を示す

共通事項	1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠(内部サムターン)とし内部は本納り付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本納り錠とする。	6. アルミニウム製の納り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。	
	2. バイパススペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本納り錠(特記なき限り同一キー)とする。(内部はサムターン付)	7. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本納り錠付きとする。	
	3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。	8. 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。(枠詳細による。)	
	4. AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め(防火戸を除く)をつける。壁仕上げボード類の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)	9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは4.0mmとする。	
	5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付とする。	10. 防火戸の位置は建具配置図による。	
建具略号	アルミニウム製	AD AW AG AOD	AS aW
	鋼製	SD SW SG SOD	SS
	鋼製軽量	LD	LS
	ステンレス製	SSD SSW SSG	SSS
	木製	WD WW WG	P H
ガラス略号	F 型板ガラス	金物	DC ドアクローザー
	P フロート板ガラス	物	AH オートヒンジ
	N 網入型板ガラス	略	FH フロアヒンジ
	NP 網入みがき板ガラス	号	PH ビボッドヒンジ

事業名	令和2年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場消防設備更新工事		
工事場所	四日市市日永東地内		
名称	建具表		
縮尺	1/50	設計年月日	令和 年 月
工種	設計者		
事業主体	四日市市	図面番号	A-12